

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回上尾市図書館協議会	
開催日時	令和4年2月21日（月）午後1時30分から午後3時20分まで	
開催場所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(委員長)氏名	代島常造	
出席者(委員)氏名	須賀聡、北川悦子、佐々木智美、加藤寛子、宮内礼子、大谷内久美子、代島常造、若松昭子、清水松代、	
欠席者(委員)氏名	岸清俊、山田浩一、高村裕美	
事務局(庶務担当)	島田館長、山内主幹、久我主幹、中島主査、吉川主査、重田主任、鈴木主任、朝見主事、若林主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 報告 ①令和3年度第3次上尾市図書館サービス計画等の進捗状況について (2) 議題 ①第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について ②利用者モニタリング調査の実施について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙「議事の経過」のとおり	傍聴者数 3名
会 議 資 料	資料1 令和3年度上尾市図書館サービス計画の進捗状況について 資料2 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について 資料3 利用者モニタリング調査の実施について	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和4年3月18日署名済み 議長(委員長)の署名 _____ </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	報告① 令和3年度第3次上尾市図書館サービス計画等の進捗状況について
議長	報告①について意見、質問をお願いします。
A 委員	非常にいい取り組みをしている。特に「(10) 高校生による読み聞かせ」は素晴らしい。 「(4) レファレンスデスクの設置等」について、夏休み期間中、子どもの宿題の対応で大好評であったと聞くと、小学生、中学生、高校生など参加者の利用状況を教えて欲しい。
久我主幹	「夏休み児童・青少年レファレンスタイム」で、レファレンスデスクを1階カウンター前に設置し、読書感想文、自由研究、工作、レポート作成などの問題解決の手助けを行った。職員2名で対応し、読書相談について17件、クイックレファレンス9件、後日回答するに至ったものは1件あった。こちらから保護者や児童に声掛けしてレファレンスにつながった。
B 委員	レファレンスに関連しての質問であるが、このデスクは夏休み期間中に用意したものであり、11月からのレファレンスカウンターとは別なのか。
久我主幹	現在2階にレファレンスカウンターを設置し、こちらは主に大人向けのレファレンスである。夏休みについては児童室の方が受けやすいことから「おはなしのへや」のところにレファレンスデスクを設置した。
島田館長	レファレンスについての補足。今年度から第3次上尾市図書館サービス計画の1年目として、これから5年間、少しずつ着手する。今年度の重点事項として、年度当初に挙げたものを実行しているもの。具体的には分館の強化、レファレンス強化であるが、これが最終目的ではなく、一つ的手段として利用者に寄り添うという考え方に基づく。窓口から利用者とのつながりを目標としている。それから、青少年サービスの強化として高校生との連携でおはなし会に結び付けている。中高生の読書離れの対策の一つとして着手していきたい。郷土資料、行政資料の収集保存についても何かしらの形で進めていきたい。一部ホームページの強化も着手している。
C 委員	「4 現在進行中のその他取り組みについて（1）施設老朽化対策」について、モデルケースを検討中とあるが、具体的に説明して欲しい。
山内主幹	あくまで現時点で想定できる、可能性の高いものとして3つ検討材料として進めている。一つ目、現本館のリノベーション（大規模改修）する手法、もう一つとして、別の場所に床を賃借して移る手法、もう一つはこの現地をスクラップアンドビルド（建て替え）する手法、この3つを基本線としている。
D 委員	この厳しい環境の中でこれだけの取り組みをされていて素晴らしい。 「(5) 情報検索サービス」について、今実際に試してみたが、たどり着くまでが少し長い。もっとシンプルになると使いやすいのでは。
久我主幹	内部でも見直して使いやすくしようと考えているところ。参考とさせていただく。

E 委員	「(2) 書籍消毒器の設置」について、これは、本の中までしっかりと殺菌されるのか。
久我主幹	本を設置すると紫外線が出て、風が出ることによって全ページが消毒される仕組みになっている。一回に6冊できる。
B 委員	書籍消毒器の利用が約2千回とのことだが、借りたときに書籍消毒器の設置について案内してくれるのか。周知が渡らないとただの物置になるので皆さんに知ってもらったほうがいい。
A 委員	「(13) 学習席の設置」について、年齢制限や利用時間の制限はあるのか。
久我主幹	年齢は問わない。1階の設置であることから、若い方、資格試験等の勉強に使って欲しいと考えている。時間制限は今のところない。開館時間内に利用できるという自由度を設けている。閉館後は使えない。
副委員長	「(11) 図書館まつり」について、埼玉県立近代美術館との連携講座の実施とあるが、どんな内容であったのか教えて欲しい。 「(1) 電子図書館サービス」について、31,000点のタイトル数とあるが、これは一つのパッケージになっていて、その中に英語文献なども含まれているのか。
山内主幹	電子書籍がパッケージされているのかについては、その通りであり、洋書の古典については、プロジェクト・グーテンベルクというシリーズで電子図書館サービスのプラットフォームとして提供されているものを採用している。次に和書の古典については青空文庫で補填している。その残りの部分を雑誌など、選書会議を通じて購入するものを決めている。必ずしも一つのパッケージではなく大きく3つの部分で構成されている。
副委員長	プラットフォームは契約上動かすことができなくて、そのほかに自分たちで選択できる部分があるということか。
山内主幹	その通り。プラットフォームとして与えられた以外に購入という形で追加していくものである。
久我主幹	図書館まつりの内容について、紙ベースの本の事業が多い中、本で得た情報などを実体験として結び付けたいという意図があった。モネとピカソのスライドトークを行った。また、近代美術館が所有している「イス」や作品のレプリカを持ち込み、実際にレプリカを見てもらったりイスに座ってもらったりした。
F 委員	電子図書館についての利用者層が分かれば教えて欲しい。
朝見主事	利用者の年齢層は統計が取れず不明である。
島田館長	電子書籍では、読書離れである青少年もターゲットにしていきたい。英語文献については読み上げるサービスがあるので英語学習など学校との連携も視野に入れながら進めていきたい。
議長	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について 議題①について意見、質問をお願いします。

C 委員	「1.1 学校支援のための図書の収集」について、希望校に配本とあるがどのくらいの学校数を想定しているのか。
久我主幹	6校の申し込みがあったが、まずは来年度に向けて5校を想定し、学校への配本と同時に図書館にも同じセットを置き、PRを兼ねて希望校を募りたい。この取り組みによって子どもの読書が広がること、学校においては並行読書の手助けになる。また、図書館においては、学校での読書教育の様子を保護者や来館者へ知らせる機会となり、図書館から学校への一方的な支援という形ではなく双方向の連携ができればいいと考える。
C 委員	「1.5 予約・リクエスト」のデメリットは何か。
久我主幹	デメリットと言えるかわからないが、ガラケー（携帯）に対応していない。また、一人がどのくらいの期間、本を留め置きすることになるのかを慎重に見ていく。
副委員長	「3.3 青少年サービス」の「Next Generation」は学校に配布するのか。
久我主幹	今までは全生徒への配布は行っていなかった。今年度から全生徒への配布、それと合わせてカラーにしたことによって、PR力が上がると考える。子ども読書活動支援センターが行っている「あっぴいぶっくる本」の配布と一緒に中学校に向けて行っている。
副委員長	「3.8 ボランティア活動支援」の「あげTUBEを利用したボランティア活動の場」とあるが、具体的にどのような内容なのか。
久我主幹	今年度、図書館の40周年イベントとして、「あげTUBE」でケーキの作り方という動画を作成した。ボランティアもコロナ禍で読み聞かせの活動ができないなど活動が停滞している。どうにか「あげTUBE」などを使ってボランティアさんの活動意欲の維持、それから、子どもたちへのイベントができればいいと考える。
副委員長	ボランティア活動だけではなく、図書館で企画したものもアップしてはどうか。たくさんの動画がホームページにあるといいと思う。
B 委員	新図書館についての今までの経緯、用地買収や見直しや損害賠償の話とか、そういうことについてなるほどと思う。「4.4 施設・設備」で3つのケースを知った。市民は説明用資料を待っている。
E 委員	「4.1 学習活動環境の整備」は令和4年度も本館のみの対応となるのか。
山内主幹	コロナの兼ね合いもあるが、増設することを目標としている。現図書館の狭小なレイアウト構造を踏まえながら、増やすことや居心地をよくするなどの改善の方向性を毎年度考えていく。
E 委員	分館には増やす予定はないのか。
山内主幹	全く考慮していないわけではない。平成31年度たちばな分館において学習席などのスペースを確保した。引き続き各分館もレイアウト等の見直しを行い、できることを日々検討し、対応可能な部分からやっていく。
E 委員	今、中学生の勉強する場所がない。基本的に図書館ではその図書館にある本を読んだり調べ物に使ったりという場所なので、学習スペースとして確保することとは話が別であることは重々承知だが、サービス計画にもある第三の居場所サード

山内主幹	<p>プレイスとして子どもたちに気軽に図書館を利用してもらえるような学習スペースがあるといいと思う。</p> <p>以前に、同じ学習スペースを使っていて、別の日には「ここは勉強する場所ではない。」と注意されたことがあった。騒いでいたり勉強以外のことをしていたのかもしれないが、学習スペースの利用に対するルールがあるのか。</p> <p>先の質問についての補足で、大石分館において会議室を学習席として開放しており、学習スペースの一定数を確保している。</p> <p>館内の利用方法について対応が違ったとのことについては、厳密には学習席と閲覧・調査研究コーナーとは別の位置づけである。館内の資料を用いて自学自習する席とは別に持ち込みの資料等を使って学習する席は、集会室として使用していないときに、学習席として開放している。開架付近の席で勉強していると注意を受けることがあるかもしれない。</p> <p>声を出すことについての件については、これは図書館の課題と考えている。今回取り組んでいる学習席の設置をなぜ1階にしたかということ、勉強する上で将来的にはグループで勉強ができるような場所を設置し、グループワーク、会話を組みながらの学習ができるような環境を整備していきたいと考えたもの。</p>
	<p>議題② 利用者モニタリング調査の実施について</p>
議長	<p>議題②について意見、質問はあるか。</p>
議長	<p>基本的にどのようにアンケート用紙を設営し、どのように回収するのか。</p>
山内主幹	<p>現在想定しているのは、各館に調査シートと回答箱を設置し、これに任意形式で回答してもらう。設問をどのように設定しているのかについては、今図書館の職員の作業グループが、サービス計画の中身や今まで行ってきたアンケート調査での利用者の満足度を測るような内容についての設問を洗いだして抽出している。</p>
議長	<p>アンケート用紙は置いておくのか。それで、利用者は用紙を手取るのか。</p>
山内主幹	<p>設置場所を用意し、置いておくスタイルを想定している。前回は自由に取って回答していただいた。過去の実績から考えると一定の回答が得られると考える。もう一工夫必要であることは認識しており、今後もんでいく。</p>
島田館長	<p>カウンターに来た方に促す、館内掲示、ホームページなどでお知らせしながら、一定量の結果を導く必要があると考える。</p>
議長	<p>おそらく、図書館を利用する方は図書館が好きなので、積極的にお願いすれば協力してくれるのではないかと思う。県立図書館では土日だけ交代で職員が立って渡すなどしていた。</p>
D 委員	<p>アンケートの取り方について、館内設置は問題ないが、Webアンケートで同一人物が100件くらい同じ意見で投稿した場合、区別がつくのか。送信したアドレスを入力させリターンする方式など採用し重複を避ける工夫が必要と考える。</p>
山内主幹	<p>埼玉県の県立図書館で使用しているアンケートのプラットフォームが、市町村も使えるのでこれを利用しようと考えている。ただし、重複を避けるためにメールを使ったりすると逆に集計が集まらないことにもなるので、最初のうちは手探りでやるしかないと考えている。</p>

